

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 2	略称 (東書)	書名 新しい道徳
----------	----------	---------	---------	----------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 道徳の授業のイメージを持たせるため、各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P4~6) イ 各教材の始めに、教材を通してどのようなことについて考えるのか示されている。 ウ 各教材の終わりに「考えてみよう」が示されており、発問例が複数例示されている。
内容の構成・配列 について	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 各学年、いじめと生命尊重は、複数教材を組み合わせたユニット構成となっている。(各学年目次) イ いじめ問題を学年の早い時期に、情報モラルを夏休み前後に配置する等、行事や季節、生徒の生活実態に合わせた配列となっている。(各学年目次) ウ 生命尊重については、3年で生命倫理を学習する等、発達段階に応じて系統的に学べるようになっている。 エ 各学年、年間30教材と5補助教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 心情の変化を可視化する心情円や意見交流を行うことができるホワイトボード用紙が巻末に付属している。 イ 各教材の終わりに、価値理解につながる発問例が例示されている。 ウ 他者の意見を書く欄が設けられている教材が複数ある。 (1年 P26,65、2年 P65,142、3年 P150,166) エ 「p4c」という対話を通して他者と問いを共有し、様々な視点から考えを深めていく活動が紹介されている。(1年 P102)
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 1つの事象について、複数の立場で具体的に考えたり、意見交換したりする教材が設定されている。 (1年 P96~102、2年 P116~121、3年 144~151) イ 役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターが各学年に2箇所設定されている。 (1年 P46,94、2年 P64,92、3年 P88,132) ウ 話し合いのときに参考とするため、各学年の巻頭に「話し合いの手引き」が掲載されている。(各学年 P3)
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 各学年の巻末に、生徒が自らの学びを振り返り、書くシート「自分の学びをふり返ろう」が用意されている。 (1年 177~181、2・3年 P185~189) イ 各教材に感じたことや考えたことを自由に書き込める「つぶやき」記入欄が設けられている。
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。(目次、各教材) イ オリエンテーションページや巻末の「自分の学びをふり返ろう」に4段階の自己評価欄が設けられている。 ウ 実際の事例を漫画で表した教材が設定されている。 (1年 P30~34、2年 P26~29、3年 P24~27) エ LGBTについて注釈で記述された部分がある。(2年 P109)

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 11	略称 (学図)	書名 輝け未来 中学校道徳
----------	----------	----------	---------	---------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 道徳の授業のイメージを持たせるため、各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P2,3) イ 各教材の始めに内容項目と教材を通してどのようなことについて考えるのか示されている。 ウ 各教材の終わりに「学びに向かうために」が示されており、発問例が複数例示されている。
内容の構成・配列 について	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 年間の3つの区切りごとに、内容項目が偏りなく配置されている。(各学年目次) イ いじめの問題について、いじめを許さない直接教材といじめを起こさない間接教材が用意されている。 (1年 P92,214、2年 P44,172、3年 P100,150) ウ 各学年の冒頭に良好な学級集団構築を狙ったグループワークが紹介されている。(各学年 P4,5) エ 各学年、年間35教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 内容項目ごとに「心の扉」が設けられ、価値理解のための視点が示されている。(1年 P43、2年 P37、3年 P65) イ 各教材の終わりの「学びに向かうために」に、価値理解につながる発問例や流れが例示されている。
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 各学年の巻頭に示されているオリエンテーションページに、考え議論するためのポイントが示されている。(各学年 P2,3) イ 各教材の終わりの「学びに向かうために」で、意見交換を行う問いが例示されている。
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 「心の扉」に、チェックリストを使って自分を振り返るページが設けられている。(1年 P25、2年 P11、3年 P11,59) イ 各学年に、年間を3つに区切って、学習したことや友達の意見等を書き込んでおき、振り返るため、「学びの記録」が設けられている。 (1年 P80 等各学年3箇所) ウ 学習した内容項目について、実践につなげていくことを促す「心の扉」ページが設けられている。(1年 P73、2年 P119、3年 P113)
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 学習指導要領の4つの視点や身の安全や情報モラル等、現代的課題についてマークで示されている。(目次、各教材) イ 学校での学びが家庭とも共有できるよう各学年の巻末に「保護者の方へ」が設けられている。(1・3年 P223、2年 P227) ウ 実際の事例を漫画で表した教材が設定されている。 (1年 P20~24、2年 P26~30、3年 P100~107) エ LGBTについて学習する教材が設けられている。(2年 P172) オ 各学年の巻末に「学びの記録」をもとにした「一年間の振り返り」が設けられている。

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 17	略称 (教出)	書名 中学道徳 とびだそう未来へ
----------	----------	----------	---------	------------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 1年間の学習を見通せるよう、各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P2,3)</p> <p>イ 各教材の始めに、教材を通してどのようなことについて考えるのか意識付けする問いが示されている。</p> <p>ウ 各教材の終わりに「学びの道しるべ」が示されており、発問例が複数例示されている。</p>
	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア いじめを直接扱った教材を各学年複数設けている。 (1年 P38,96、2年 P26,94、3年 P34,72)</p> <p>イ 3年間を通したシリーズ教材が2種類設けられている。 (けやき中、3人組)</p> <p>ウ 教材に関連付けて体験的な活動教材「やってみよう」が設けられている。(1年 P27,77、2年 P9,59、3年 P95)</p> <p>エ 各学年、年間30教材と5補助教材が掲載されている。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めにくための工夫	<p>ア 「やってみよう」で、人間理解、他者理解につなげるため、話し合いが設けられている。(1年 P27、2年 P9)</p> <p>イ 各教材の終わりに「学びの道しるべ」が示されており、価値理解につながる発問例が例示されている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各学年に「やってみよう」が設けられており、役割演技が取り入れられている。(1年 P77、2年 P59、3年 P95)</p> <p>イ 各教材の終わりに示されている「学びの道しるべ」に、意見を出し合ったり、話し合ったりすることや自分の考えを様々な視点でまとめたりすることを促す問いが例示されている。</p> <p>ウ 1年生の巻頭に、いろいろな視点で考えたり、友達と考えを出し合ったりするなどして学習することが示されている。(1年 P4,5)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人の生き方から学ぶために、人物に関わる教材が多く取り上げられている。(各学年10教材)</p> <p>イ 各学年に、学習したことや友達の見解等を書き込んでおき、振り返るため、「道徳の学びを記録しよう」が設けられている。 (1年 P190、2・3年 P174)</p> <p>ウ 各学年の巻末に「どんな自分になりたいか」を書くページが設けられている。</p> <p>エ 各学年の巻末に都道府県にゆかりのある人物とその言葉を集めたページがある。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 学習指導要領の4つの視点が色分けされている。(目次、各教材)</p> <p>イ 巻末の「道徳の学びを記録しよう」に内容項目ごとに発見があったものを3段階で記入する自己評価欄が設けられている。 (1年 P191、2・3年 P175)</p> <p>ウ 1年生の1～10の教材は、少し文字が大きくしてある。</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 38	略称 (光村)	書名 中学道徳 きみがいちばんひかるとき
----------	----------	----------	---------	-------------------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 各学年の巻頭に、道徳の時間の学び方について説明するオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P4,5) イ 各教材の始めには、内容項目が示されている。 ウ 各教材の終わりに「学びのテーマ」ページが設けられており、発問例が複数例示されている。 エ 各学年の巻末に「どうして道徳を学ぶんだろう」が設けられている。 (1・2年 P218、3年 P226)
内容の構成・配列 について	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 生命の尊さを学習する教材が、各学年3つずつ設けられている。 (1年 P22,66,92、2年 P25,70,198、3年 P24,138,188) イ 1年間を4つのシーズンに分け、それぞれテーマを設けて教材が配置されている。(各学年目次) ウ 各学年、年間3・4教材と2補助教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 各学年に、テーマを設けて、「〇〇」ってなんだろうを考えるページが設けられている。 (1年 P128「正義」、2年 P114「ゆるす」、3年 P130「自立」) イ 「節度、節制」の項目を扱った教材の終わりに、タイムスケジュールやチェック表を基に話し合う機会が設定されている。 (1年 P16、2年 P15) ウ 各学年に、話し合いを通して考えを深められる教材が設けられている。(1年 P202～204、2年 P59～61、3年 P188～193)
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 各教材の終わりにある「学びのテーマ」で、様々な視点で考えるよう「考える観点」とは別に「見方を変えて」で問いが示されている。 イ 各教材に自分の気づいたことを記述する「私の気づき」欄が設けられている。 ウ 各教材に示されている「つなげよう」で、同じ内容項目や他教科で学習する内容との関連や関連図書が紹介されている。
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 各学年の巻末に、シーズンごとに、生徒が自らの学びを振り返り、書くシート「学びの記録」が用意されている。 イ 3年生の巻末に、自分の将来を想像して現時点の人生目標を記入する「人生目標年表を書こう」が設けられている。(3年 P224) ウ 各学年の巻末に著名人からの直筆メッセージを掲載した「あなたへのメッセージ」が設けられている。(1・2年 P222,223、3年 P230,231)
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。(各教材) イ 「いじめ問題」「情報モラル」「共生」「社会参画」「環境」「国際理解」「人と人との関係づくり」について、直前の教材と関連付けられるコラムが設けられている。(各学年目次) ウ 各学年に漫画教材が設定されている。 (1年 P174～178、2年 P180～185、3年 P52～57) エ 中学校以上配当の常用漢字については、全てふりがな付きになっている。

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 116	略称 (日文)	書名 中学道徳 あすを生きる
----------	----------	-----------	---------	----------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各学年の巻頭に、道徳の時間の学び方について説明するオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P2,3)</p> <p>イ 各教材の始めに、教材を通してどのようなことについて考えるのか示されている。</p> <p>ウ 教材の終わりに「考えてみよう」「自分に+1」が示されており、発問例が複数例示されている。</p>
内容の構成・配列について	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 各学年、本冊と別冊「道徳ノート」で構成されている。道徳ノートには本冊と対応する形で、問いと記述欄が設けられている。</p> <p>イ 各学年、いじめは、複数教材を組み合わせたユニット配置となっている。</p> <p>ウ 1年生は、いじめを扱うユニット教材が特に3箇所設けられている。(1年目次)</p> <p>エ 各学年、年間35教材が掲載されている。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 道徳ノートでは、各教材に他者の意見を書く欄が設けられている。</p> <p>イ 各教材に議論することを想定した発問例「考えてみよう」が示されている。</p> <p>ウ 各教材に「自分に+1」という価値理解につながる発問例が示されている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 各学年、6、7教材において、問題解決的な学習や体験的な学習の進め方の参考例が示されている。 (1年 P26,60等、2年 P39,82等、3年 P20,46等)</p> <p>イ 「プラットフォーム」の中で、学習した内容について、別の視点から考えるコラムが設けられている。(2年 P40,120、3年 P48)</p> <p>ウ 道徳ノートの巻末に、話し合いの内容をメモしたり、まとめたりする欄が設けられている。</p> <p>エ いじめに関する学習で、同じ登場人物、同じ場面において別の立場から描いた教材が設定されている。(2年 P32、P36)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 人の生き方から学ぶために、人物に関わる教材が多く取り上げられている。(各学年 8~12教材)</p> <p>イ 著名人から生徒一人ひとりに向けたメッセージ「私の生き方」が設けられている。(1年 P10,81等、2年 P29,111等、3年 P15,19等)</p> <p>ウ 道徳ノートの巻末に、生徒の振り返りと保護者記入欄のページが設けられている。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 学習指導要領の4つの視点がマークで示されている。(各教材)</p> <p>イ 安全や情報モラル等、現代的課題について目次で分かるように示されている。</p> <p>ウ 各教材の始めに登場人物や作者が写真等で紹介されている。</p> <p>エ 道徳ノートにおいて、教材ごとにその学習における5段階の自己評価記入欄が設けてある。</p> <p>オ 中学校で学習する漢字については、全てふりがな付きになっている。</p> <p>カ LGBTについてコラムが設けられている。(3年 P145)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 224	略称 (学研)	書名 中学生の道徳 明日への扉
----------	----------	-----------	---------	-----------------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられ、道徳授業の流れが示されている。(各学年 P2,3) イ 生徒が自ら学ぶための工夫として、各教材の始めに内容項目等が示されていない。 ウ 各教材の終わりに発問例が例示されている。
	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 生命の尊さを学習する教材が、各学年3つずつ設けられている。(1年 P16,96,168、2年 P64,92,162、3年 P26,104,146) イ 各学年の「クローズアッププラス」の中に、アンガーマネジメント、自己肯定感、メンタルトレーニング等を扱ったページが設けられている。(1年 P111,141,151、2年 P53,83,91、3年 P39,53,159) ウ 「地球と地域の未来のために」と「スポーツの世界で共に輝く」という2つのテーマで、複数教材を連続で扱うユニット教材が各学年に設定されている。(各学年目次) エ 各学年、年間35教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 特設ページ「深めよう」に、話し合いを通して気づいたことを記述する欄が設けられている。(1年 P27,37 等各学年4箇所) イ インタビューや意見等1つの価値項目に対して複数の意見があらかじめ教材に掲載されている。(1年 P20,91、2年 P66、3年 P15)
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 話し合いや役割演技を通して考えを深める特設ページ「深めよう」が各学年に4箇所設定されている。(1年 P27,37 等各学年4箇所) イ 学習内容に関連した情報を提供する「クローズアップ」「クローズアッププラス」が設けられている。(1年 P15,19 等) ウ 各学年の巻頭に示されているオリエンテーションページに、話し合っ、考えを磨き合うためのポイントが示されている。(各学年 P2,3)
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 人の生き方から学ぶために、人物に関わる教材が多く取り上げられている。(各学年8~15教材) イ 各学年、自分を見つめて記述するページ「マイプロフィール」が設けられている。(各学年 P9) ウ 各学年の巻末に、1年を振り返って記述するページが設けられている。 エ 様々な名言を集めた「心に響く言葉」ページが設けられている。(1年 P49、2年 P19,77、3年 P111)
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 学習指導要領の4つの視点が色分けされている。(目次、各教材) イ 情報モラルを扱う教材が分かるようマークが表示されている。(目次、該当の教材) ウ A4版の教科書で、写真や挿絵等が大きく掲載されている。 エ 中学校配当の漢字及び常用漢字外の漢字については、全てふりがな付きになっている。

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 232	略称 (廣あかつき)	書名 中学生の道徳
----------	----------	-----------	------------	-----------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 道徳授業のイメージを持たせるため、各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられている。(各学年 P2,3) イ 生徒が自ら学ぶための工夫として、各教材の始めに内容項目等が示されていない。 ウ 各教材の終わりに学習の手がかりが示され、めあてや複数の発問例が例示されている。
内容の構成・配列 について	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 各学年、本冊と別冊「道徳ノート」で構成されている。道徳ノートは内容項目ごとに記述欄が設けられている。 イ 道徳ノートには、内容項目ごとに解説した文章が掲載されている。 ウ 3年間を通した「アイツ」シリーズ教材が設定されている。 エ 段組を使用した長文の教材が設定されている。 オ 各学年、年間35教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	ア 教材で学んだ内容項目について理解を深めるよう「thinking」が各学年3つずつ設けられている。(各学年目次) イ 学習内容項目に関する名言が各教材1つずつ掲載されている。 ウ 道徳ノートに、内容項目ごとに自分の考えや気づいたことなどを記述する欄が設けられている。
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 各教材に「考える・話し合う」を示し、話し合うことを意識させるようにしている。 イ 複数の視点からの意見を基に考える教材が設けられている。 (1年 P106、3年 P124)
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 道徳ノートに、自分を見つめて記述するページ、「中学〇年生の私」が設けられている。 イ 道徳ノート巻末には、後で振り返ることができるよう心に残っている授業や話し合いの記録、学習の記録を記述するページが設けられている。(別冊 P52～60) ウ 道徳ノートには、内容項目ごとに問いが掲載されている。
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 道徳ノートの巻末に「自分自身を振り返って」があり、授業ごと、内容項目ごとに5段階の自己評価欄が設けられている。 イ 情報モラルに関連した特集ページが各学年の巻末に設けられている。 (1年 P174～175、2年 P158～159、3年 P154～155) ウ 第1学年については、本文文字サイズが大きめに設定されている。

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 233	略称 (日科)	書名 道徳 中学校
----------	----------	-----------	---------	-----------

項 目		特 徴
学習方法の工夫 について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	ア 各学年の巻頭にオリエンテーションページが設けられ、道徳授業の流れが示されている。(各学年 P4,5) イ 生徒が自ら学ぶための工夫として、各教材の始めに内容項目等が示されていない。 ウ 教材の終わりに発問例が複数例示されている。
	②学習内容の構成・配列の工夫	ア 教材が内容項目順に配列されている。 イ 3年間を通した「リョウとマキ」シリーズ教材が設定されている。 ウ 各学年、年間37教材が掲載されている。
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めにくための工夫	ア 各教材に「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」が示され、話し合うことを意識した発問例が示されている。 イ 各学年に、考えを深めたり、話し合ったりするページ「考えてみよう」「話してみよう」が設けられている。 (1年 P72、2年 P21、3年 P22,125) ウ 各教材の終わりに価値理解につながる発問例が例示されている。
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	ア 様々な見方や考え方について話し合う教材が各学年に設けられている。(1年 P70、2年 P70、3年 P74) イ 「もっと知りたい」では、学習内容に関連して話し合うことが示されているページも設けられている。(1年 P103、2年 P103、3年 P99) ウ 各学年の巻頭に示されているオリエンテーションページに、多様な考えを知るためのポイントが示されている。(各学年 P4,5)
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	ア 各学年、巻頭に自分を見つめて記述するページ、「今の僕、私」が設けられている。(各学年 P6) イ 各学年、巻末に生徒が振り返りを書くページが設けられている。 ウ 自分自身を見つめて書くページ「書いてみよう」が設けられている。 (1年 P84、2年 P12,24)
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	ア 各教材の内容項目が番号で示されている。(目次、各教材) イ 教材の中に出典が明記されていないものがある。 ウ 巻末の振り返りページでは、内容項目ごとに4段階の自己評価欄が設けられている。自己評価の規準(理解面と行動面)についても示されている。 エ LGBTについて学習する教材が設けられている。(2年 P64)